

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0841
施設名	北保育園
施設所在地	国立市北3-1-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

北のみそラーメンを食べよう <5歳児>

<テーマの設定理由>

子ども同士の会話の中で「給食のラーメンっておいしいよね」「何でできているのかな?」「みそじゃない?」子ども同士の話は盛り上がっていた。担任から「みそラーメンを作ってみようか」となげかけた。

みそラーメンに必要な食材について図鑑で調べ、みそが必要だということを再確認した。昨年4歳児のみんなが大豆から作ったみそが保存されていることを知らせ、みそラーメンづくりへの意欲を促した。

2. 活動スケジュール

- 1月 4歳児の時に作った「北のみそ」の様子を見て、図鑑でみそについて調べみんなで話し合う。
- 2月 園児が作ったみそを使って、みそラーメンを作ってもらい、味やおいしさなど感想を出し合う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・プロジェクターで4歳の大豆栽培を振り返る
- ・4歳児でつくったみそを見て振り返る
- ・ラーメン・豚のひき肉・もやし・ニンジン・長ネギ・コーン缶
- ・3種類のだし汁(煮干し・鰹節・昆布)
- ・図鑑(大豆)

4. 探究活動の実践

- ①みそラーメンを作る過程を調理師に話してもらい聞く。
- ②調理師に3種類のだし汁（煮干し・鰹節・昆布）を作ってもらい味見をする。
- ③だし汁にみそを入れ味の変化を比べる。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

みそラーメンを作る過程から出汁について興味を深めた。調理師に聞くと保育園では3種類の出汁を使っていることを教えてもらった。

「あじみしたい!」「なにこれ?みたことない」3種類の出汁を実際に触ったり、匂いを嗅いだ。「出汁っておいしくないんだね」「でもにぼしが一番おいしい」「みそを入れたらおいしくなったんじゃない?」

北のみそを入れたことでもっとおいしくなったことに気づいた。



5. 振り返り<園児・職員の気づき>

- ・みそを加えることでラーメンがおいしくなることを知った。
- ・みそは、料理に大切だということに気づいた。
- ・ラーメンができるまでの過程を知ったことで、みそへの感謝の気持ちを持ち、食に対する興味が高まった。
- ・保育者同士や調理師との連携が重要であることを次年度に活かしたい。